

インフォシス、デジタル体験およびマーケティング代理店である oddity を買収

インフォシスのデジタル体験能力をドイツ、欧州全体、北東アジアでさらに強化する戦略的な買収

バンガロール (インド) およびシュツットガルト (ドイツ) – 2022 年 3 月 22 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである[インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、ドイツを拠点とするデジタル・マーケティング、デジタル体験、デジタル・コマース代理店の [oddity](#) の買収に向けた正式契約を締結したと発表しました。今回の買収は、インフォシスのクリエイティブなブランディングおよび体験デザインの能力を強化し、顧客との共創とデジタル変革ジャーニーの支援に対する継続的なコミットメントを示すものです。

300 名以上のデジタル・エキスパートをシュツットガルト、ベルリン、ケルン、ベオグラード、上海、台北に展開する oddity は、ドイツ最大の独立系デジタル代理店の 1 社です。

ドイツの大手オムニチャネル、e-コマース小売会社、大手日用消費財ブランド、さらに世界的なモビリティ・プロバイダーのデジタル変革を実現してきた oddity は、デジタル・ファーストなブランド管理とコミュニケーション、自社生産、仮想現実と拡張現実、体験デザイン、および欧州と中国の e-コマースサービスを含む、包括的なサービスポートフォリオを備えています。

今回に先立ちインフォシスがすでに行った買収したクリエイティブおよびマーケティング・サービスを提供する [WONGDOODY](#) と共に、oddity は補完的なスキルと専門知識で、デジタル・コマースの世界でグローバル CMO とビジネスの成功を支援します。インフォシスのデジタル体験およびデザインサービスの一環として、oddity はインフォシスのグループ企業である WONGDOODY の傘下に入り、同社のシアトル、ロサンゼルス、ニューヨーク、プロビデンス、ヒューストン、ロンドンのスタジオ・ネットワークとインド 5 都市のデザイン・ハブの一員となります。

インフォシスの社長 Ravi Kumar S は次のように述べています。「私たちは次世代のインターネットの先端、フィジカルとバーチャルの世界の合流点にいます。このビジョンにより、oddity と共に当社の体験とスキルを強化し、先進的な思考の全体論的ソリューションをグローバルな規模で提供できることを非常に喜んでおります。oddity のデジタル・コマースおよびマーケティングの知識、ならびに同社のメタバース対応のセットアップは、インフォシスが得意とするテクノロジー変革を完璧に補完するものです。」

「人間中心マーケティングのより優れた未来とは、創造性とテクノロジー（データ、自動化、AI）の共生の中にあります。そこは、Infosysと WONGDOODY と共に、独自の差別化要因の機会を見出す場所です。当社は今後も自社サービスを合同で開発することに意欲を持っており、世界で最も尊敬されるデジタル・テック企業のひとつの一員となることを誇りに思います」と、**oddiy 創業者の Frank Boegner 氏、Marc Bürkle 氏、Simon Umbreit 氏、Christian Gölz 氏**は述べています。

Infosysのグループ企業 WONGDOODY の CEO である Ben Weiner は次のように付け加えています。「oddiy との出会いはまるで、生き別れた双子の相方を見つけたようなものでした。お客様のためのデジタル変革の高速化について、私たちは創造性の持つ力について同じ価値観やビジョンを持ち、一方で成功をもたらすのは私たちの従業員と文化であることを認識しています。デジタル変革は整合性のある人間をベースとしたニーズ中心の視点からアプローチした場合に最も効力を発揮するという、私たちが共有している考えによって、私たちは結ばれています。」

今回の買収は慣習的な取引条件を満たした後、2023 年度第一四半期（2022 年 4 月）中に完了する見込みです。

oddiy について

oddiy はデジタル・コミュニケーションおよびデジタル・コマースの代理店です。当社のオンデマンド・ワールドで深く掘り下げ、共創し、互いに力を与えながら、人々のニーズに対するより良い答えを探しています。シュトゥットガルト、ベルリン、ベオグラード、ケルン、上海、台北の拠点に、300 名以上のプロフェッショナルなデジタル・エキスパートが所属しています。顧客との共創により、デジタル・ソリューション、ブランド・ワールド、キャンペーン、ソーシャルメディア向けリキッドコンテンツを創り出しています。エコシステムの全体でお客様とつながり、ブランド・ロイヤルティを醸成します。一方で、B2B および B2C の幅広いセクター全体を通じて購入の強力な推進力をもたらします。詳細は www.odt.net をご覧ください。

WONGDOODY (Infosysのグループ企業) について

WONGDOODY は受賞歴のあるクリエイティブ・エージェンシーであり、Infosysのグローバルな体験・デザイン・プラットフォームです。同社はブランディング、小売、顧客インサイトにより広く認知されています。WONGDOODY はシアトル、ニューヨーク、ロサンゼルス、プロビデンス、その他世界中に拠点を構え、顧客には Amazon、本田技研、シティグループを始めとする多くの Fortune 500 企業が名を連ねています。

Infosysについて

Infosysは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォー

マンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

メディア関係のお問い合わせ先

インフォシス 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com